

保護コロイド（ほごころいど） protective colloid

疎水コロイド系にある種の親水コロイド（蛋白質や高分子電解質など）を加えると分散系の安定性が著しく増大する。これは親水コロイドが疎水コロイドを完全に包み込んで保護するため、この場合の親水コロイドを保護コロイド、その安定化効果を保護作用と呼ぶ。保護コロイド層は粒子表面に密に吸着し、かつ厚い層であることが望ましいので、最近、性質が異なる 2 - ブック共重合体や特殊な官能基で末端を修飾した高分子の使用が注目されている。

（古澤）

(C) 2004 筑波微粒子・界面・環境研究会, All rights reserved